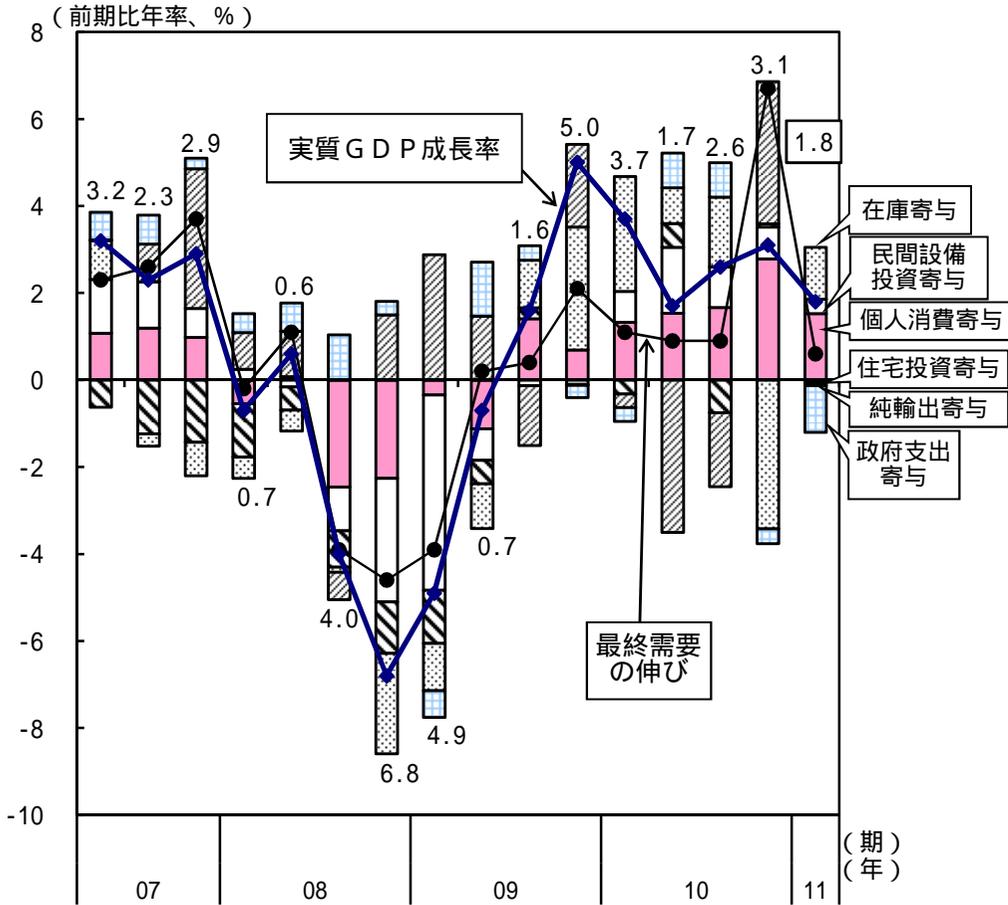


# 1. アメリカ

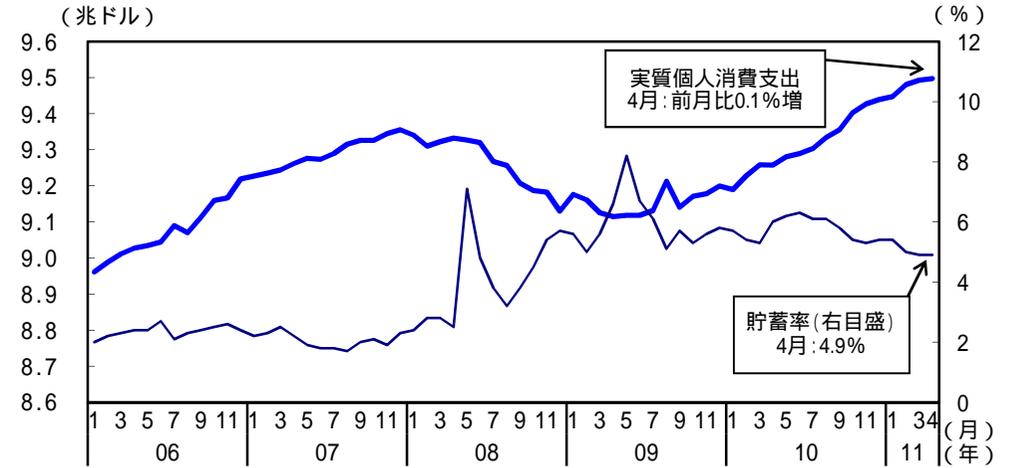
アメリカでは、景気回復が緩やかになっている。先行きについては、緩やかな回復が続くと見込まれる。ただし、失業率の高止まりや住宅価格の下落等により、景気が下振れするリスクがある。

GDP (第2次推計値):  
2011年1~3月期は前期比年率1.8%成長



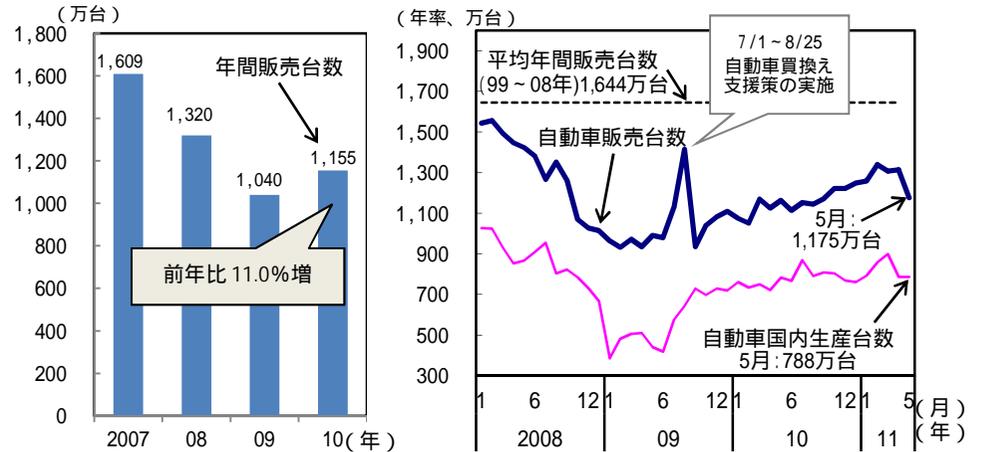
(備考) アメリカ商務省より作成。

## 消費: このところ増加のテンポが鈍化



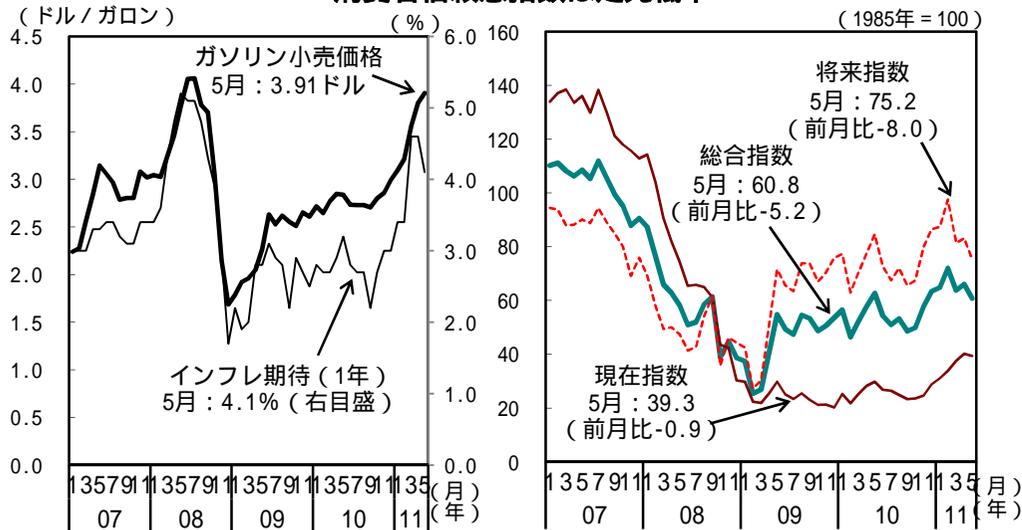
(備考) アメリカ商務省より作成。

## 自動車販売台数は足元減少



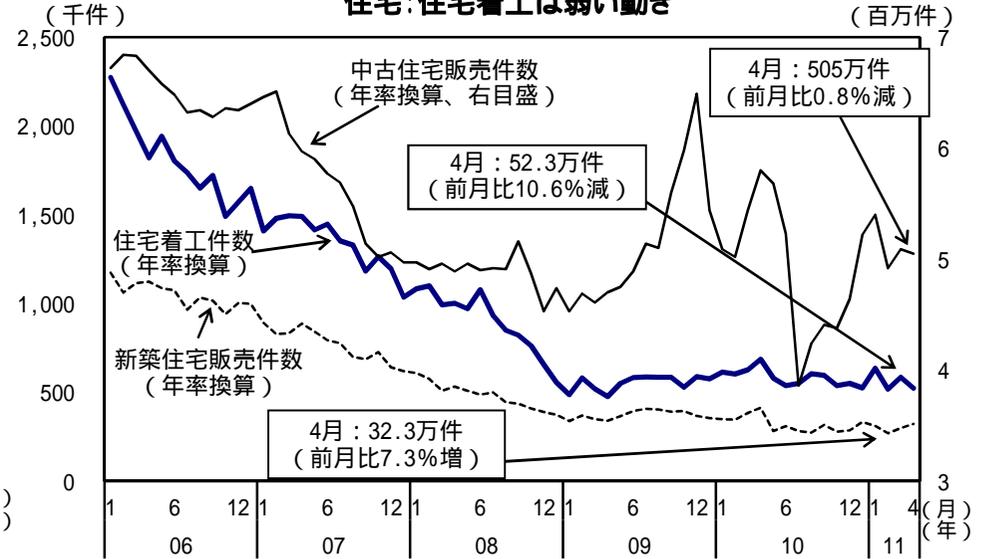
- (備考) 1. アメリカ商務省、連邦準備制度理事会 (FRB) より作成。  
 2. 09年7月1日より、燃費の悪い中古車を下取りにして、低燃費の新車に買い換える者に対して購入額の割引 (3,500ドル (約34万円) 又は4,500ドル (約43万円)) を行う措置を実施。当初予算額は10億ドルとされていたが、09年8月6日に20億ドル増額し、30億ドルとした。  
 3. 当措置は申込みの殺到により、09年8月25日で申請受付を終了した。実績は約68万台。

### 消費者信頼感指数は足元低下



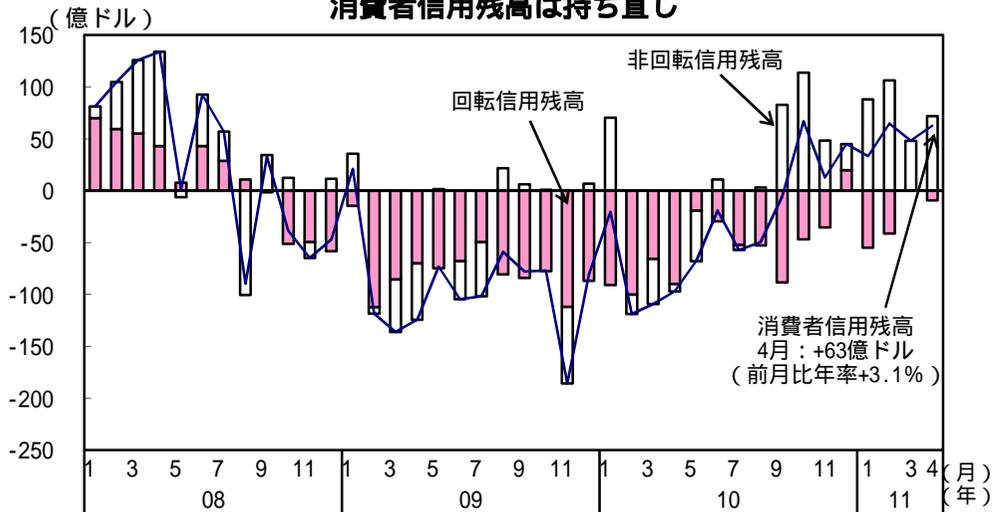
(備考) 1. コンファレンス・ボード、米エネルギー省、ミシガン大学より作成。  
 2. 将来指数は6か月後の見通し。ガソリン小売価格は月平均価格。  
 インフレ期待は、今後1年後における物価上昇率予測回答の中央値。

### 住宅:住宅着工は弱い動き



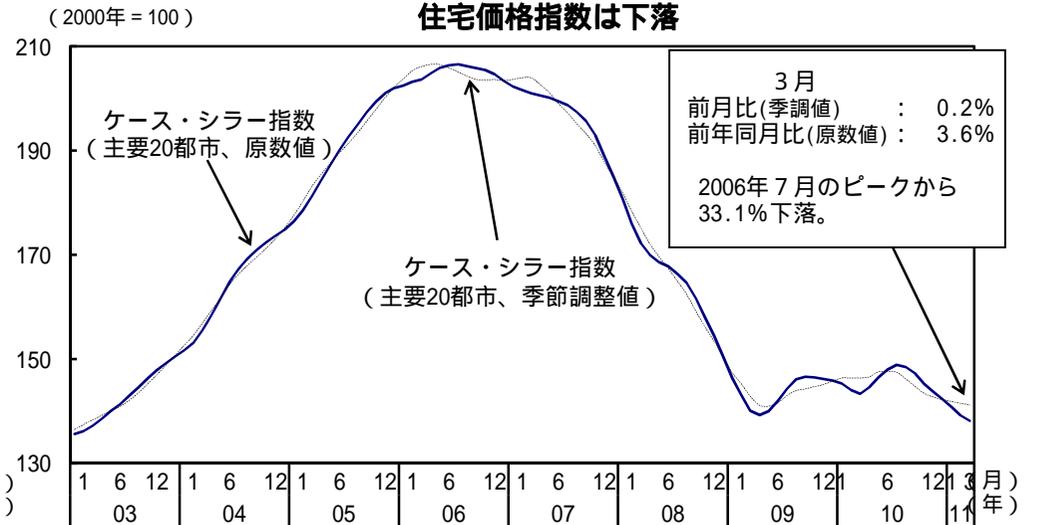
(備考) アメリカ商務省、全米不動産業者協会 (NAR) より作成。

### 消費者信用残高は持ち直し



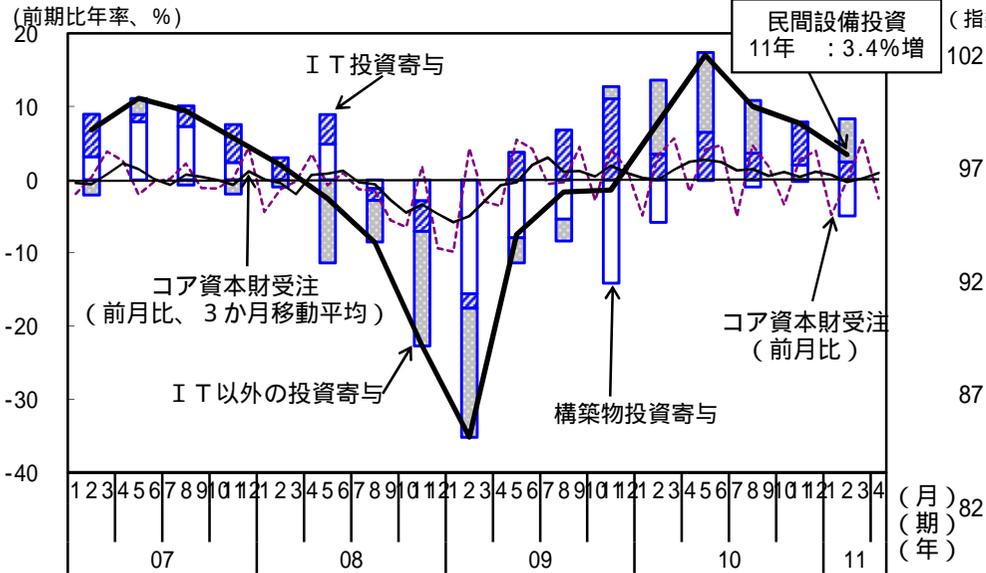
(備考) 連邦準備制度理事会 (FRB) より作成。

### 住宅価格指数は下落



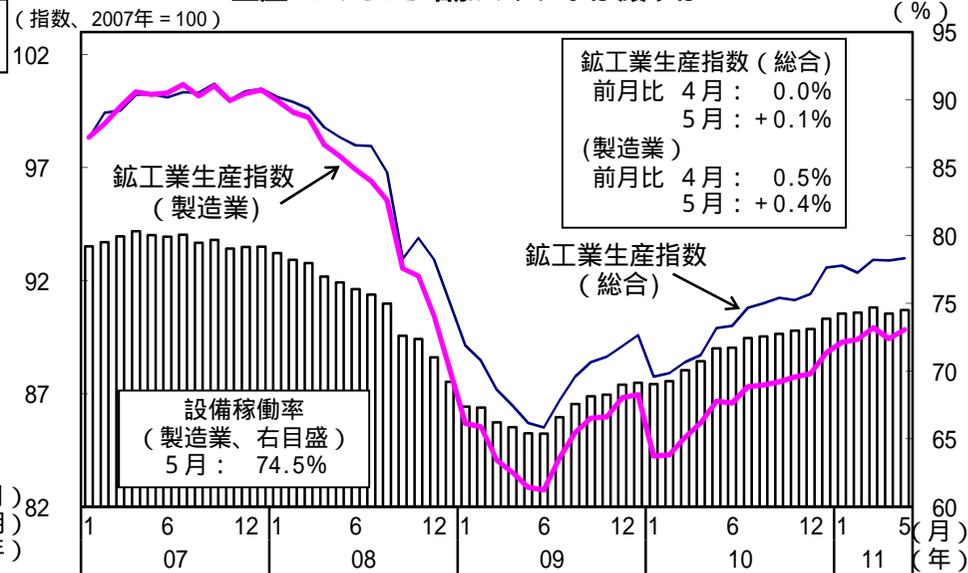
(備考) スタンダード・アンド・プアーズより作成。

### 設備投資:増加のテンポが緩やか



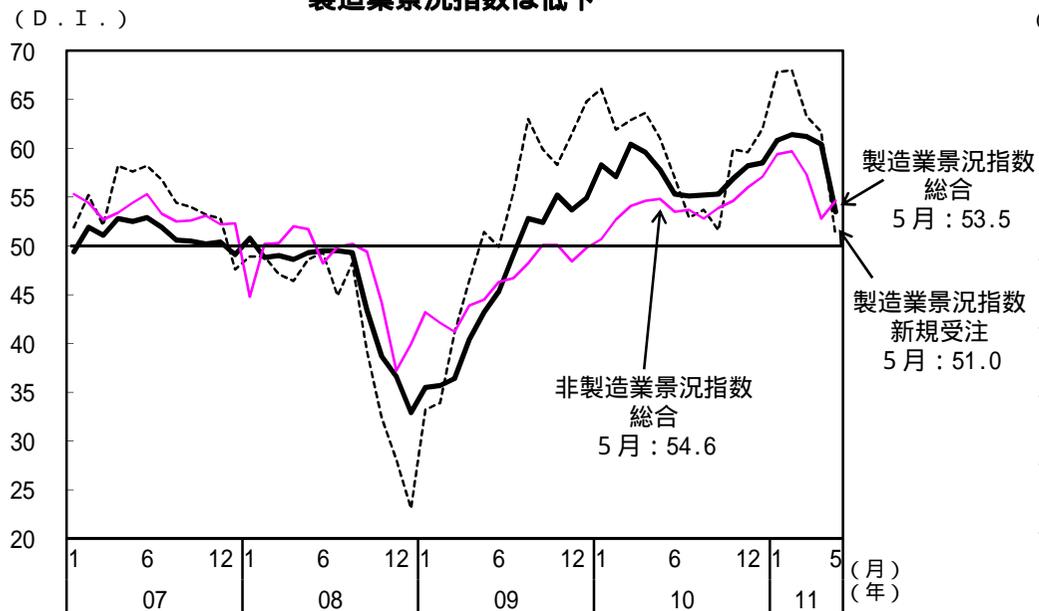
(備考) アメリカ商務省より作成。

### 生産:このところ増加のテンポが緩やか



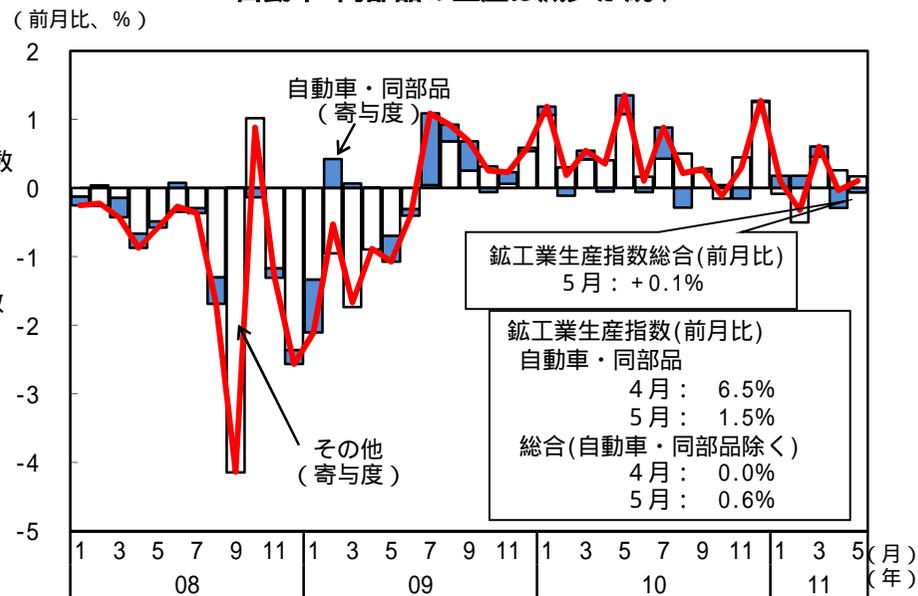
(備考) 連邦準備制度理事会 ( F R B ) より作成。

### 製造業景況指数は低下



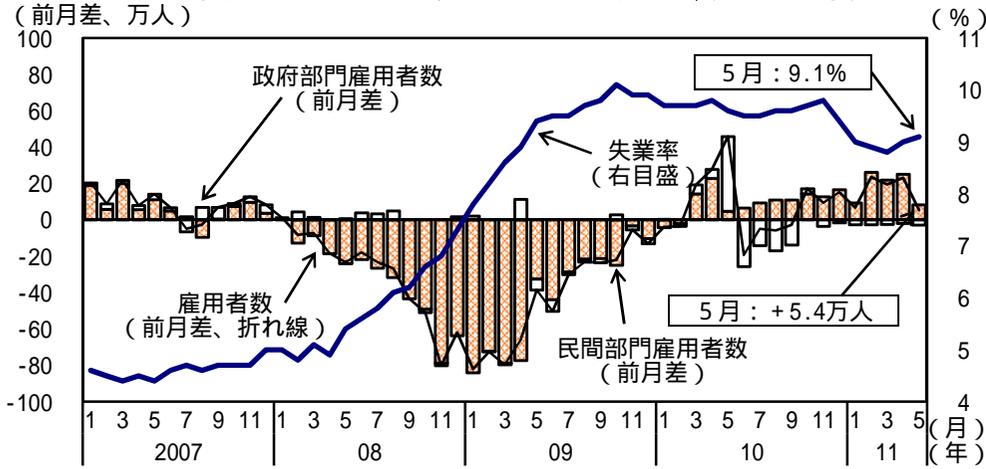
(備考) 全米供給管理協会 ( I S M ) より作成。

### 自動車・同部品の生産は減少が続く



(備考) 連邦準備制度理事会 ( F R B ) より作成。

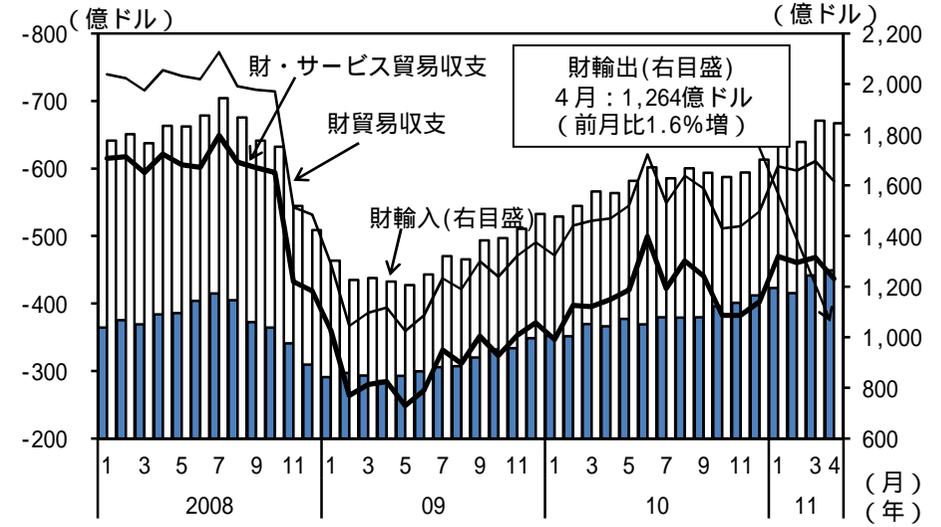
### 雇用：雇用者数はこのところ増加のテンポが緩やか、失業率は高い水準



08～09年の雇用者数増減： 866.3万人  
 10年以降の雇用者数増減： +172.3万人

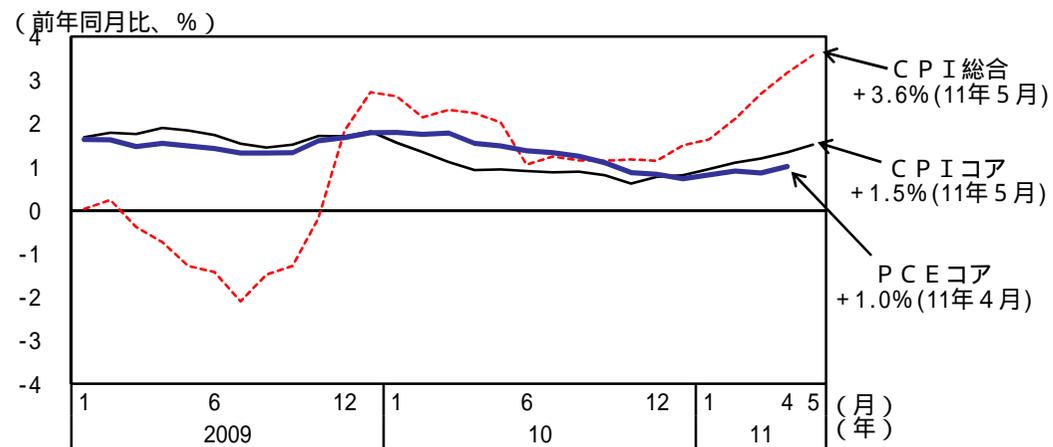
（備考）アメリカ労働省より作成。  
 雇用者数は非農業部門。

### 貿易：財輸出は増加



（備考）アメリカ商務省より作成。

### 物価：コア物価上昇率は緩やかに上昇



エネルギー価格  
 前年同月比 5月：+21.5%  
 食品価格  
 前年同月比 5月：+3.5%

（備考）1. アメリカ労働省、商務省より作成。  
 2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数である。

### 主要国際機関等による見通し

		（前年比、%）	
		11年	12年
ブルーチップ （民間見通し平均） （11年6月10日）	上位10社	2.8 (2.9)	3.7 (3.9)
	平均	2.6 (2.7)	3.1 (3.2)
	下位10社	2.3 (2.4)	2.5 (2.5)
		（前年比、%）	
		11年	12年
OECD（11年5月25日）		2.6	3.1
IMF（11年4月11日）		2.8	2.9
行政管理予算局(OMB)(11年2月14日)		2.7	3.6
議会予算局(CBO)(11年1月26日)		2.7	3.1

（備考）1. ブルーチップ・インディケータ（11年6月10日号、5月10日号）、OECD“Economic Outlook 89”（11年5月25日）、IMF“World Economic Outlook”（11年4月11日）、アメリカ行政管理予算局（11年2月14日）、アメリカ議会予算局（11年1月26日）より作成。  
 2. ブルーチップのカッコ内は、11年5月10日時点の見通し。

## アメリカの民間エコノミストに対するアンケート調査

(1) 「自動車生産は、4～6月期の実質GDP成長率をどの程度押し下げると考えるか」との問いに対し、

自動車生産が4～6月期実質  
GDP成長率を押し下げる程度

全体	0.5%ポイント
上位10社	0.8%ポイント
下位10社	0.2%ポイント

なお、回答者の95.7%が、自動車生産は4～6月期の実質GDP成長率にマイナスの影響を及ぼすと回答。

(2) 「FRBのバランスシートは、金融危機以前は0.9兆ドル(GDP比6%)以下であったが、現在では2.7兆ドル以上(同18%)に拡大している。FRBがバランスシートの縮小を開始するのは、どの時期になると思うか」との問いに対し、

今年中	1、2年以内	2年以上後	縮小させることはない
26.1%	67.4%	6.5%	0%

## バーナンキ議長講演・ページブック

### バーナンキ議長講演(6/7)のポイント

<景気の見通しについて>

- ・今年に入って、これまでのところ、景気回復は想定よりも多少緩やかである。
- ・年後半には多少勢いを増すだろう。

<金融政策について>

- ・労働市場は徐々に改善しているが、失業率が高止まっており、雇用状況は正常からは程遠いままである。
- ・最近の物価上昇は一時的。労働需要が依然として弱いこと、長期のインフレ期待が安定していることから、物価は中期的には抑制された水準に戻るであろう。
- ・アメリカ経済は依然として潜在的な水準を大幅に下回っており、緩和的な金融政策が引き続き必要である。

### ページブック(6/8)のポイント

- ・経済活動は全体として拡大しているが、12地区のうち4地区で成長のペースが緩やかになった。  
(4地区…ニューヨーク、フィラデルフィア、アトランタ、シカゴ)

## 連邦政府財政をめぐる最近の動向

### 1. 連邦債務の法定上限の引上げをめぐる動き

- ・債務残高は、5月16日に法定上限(14兆2,900億ドル)に到達したため、法律上の規定に基づく特別措置により、若干の余裕を設けたところ。
- ・現在の財務省の予測では、8月2日には最終的な上限に達する見通し。
- ・仮に債務上限が引き上げられない場合は、「米国債がデフォルトに陥るリスク。」  
(ガイトナー財務長官からリード上院院内総務あて書簡)

### 2. 最近の動向

- ・与野党の議会指導部とバイデン副大統領による、財政赤字削減に向けた議会超党派・政府の協議会を設置し、5月5日に初会合を実施。6月末までに最終合意をとりまとめ。
- ・オバマ大統領は、23年までに2兆ドルの歳出削減を提案。一方、共和党は、今後10年間で5.8兆ドルの歳出削減を求める法案を下院で可決。
- ・5月31日には、連邦債務の上限を2.4兆ドル引き上げる法案が下院で審議されたが、共和党の反対により否決。
- ・6月1日には、オバマ大統領と共和党議会指導者との間で会談が行われたが、協議は物別れに終わるなど、調整は難航。

## 金融政策

